

東京柏葉会 会長引継のご挨拶

2023年7月1日(土)の第31回総会において、役員改選が行われ、会長の引継に加え、4名の新任役員の加入と役員の役割変更などを行いました。以下、池田康人前会長と新任の平伊佐夫会長よりご挨拶をさせていただきます。

■会長退任のご挨拶

今回の東京柏葉会総会にて会長職を23回生平伊佐夫さんに引き継ぐ事になりました。2018年の第28回総会で前会長の浦松敏和先輩より会長職のバトンを受け、5年間会長を務めさせて頂きました。

会長を引き継いだ半年後に浦松前会長が急逝され、不慣れなままにスタート。

その後のコロナ禍での2回の総会中止を余儀なくされましたが、今年はコロナ感染対策の制限解除もあり、4年ぶりに皆様にご出席いただき、従来方式での総会・懇親会を無事終了する事が出来ました事、感謝申し上げます。今後は長年に亘り、東京柏葉会の中核としてご活躍いただいている平伊佐夫新会長が若手をリードして新しい柏葉会の在り方を実現していただけるものと期待しております。会として、これから色々なことを進めて行かなければなりません、その中でも”若い会員の掘り起こし”は従来からの課題であり、今後も引き続いて努めて行かなければならないことと考えています。及ばずながら、側面からサポートさせて頂くつもりでいます。多くの同窓生の皆様が何時も楽しく憩える「東京柏葉会」がいつまでも続いてくれる事を祈念して、お礼のご挨拶とさせていただきます。

東京柏葉会 顧問 池田康人(21回生)



■会長就任のご挨拶

この度の総会において、池田康人前会長より引継ぎを受け第6代会長を拝命いたしました。池田さんは、どなたが指揮をとっても困難なコロナ禍の時期を乗り越えて、「第30回総会」開催、「設立30周年記念誌」発行、「第31回総会・懇親会」開催等々、素晴らしい足跡を残されました。実務力・情熱・行動力！何を取り上げてもバトンを受け継ぐには力量不足の私です。今後も、顧問のお立場で見守ってくださいますようお願い申し上げます。と共に、役員・年次幹事の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。世の中は年々”人と人のつながり”が希薄になっていく様相を呈しています。その原因として”デジタル化”の負の部分指摘する方もおられますが、それは一部分のことで、根本的には共存していく社会のあり方と自身の他者へのアプローチの問題だと思います。

言うまでもなく我が「東京柏葉会」は、通常の社会組織にはない唯一無二の「心のつながり」の存在です。

会員の皆様、年次幹事の皆様、役員の皆様、どなたも献身的な思いに溢れた方々ばかりです。

ここまで築いてくださった諸先輩に感謝し、この大切な会に若い世代を糾合していくことを期待しながらご挨拶とさせていただきます。

東京柏葉会 会長 平 伊佐夫(23回生)

